

● 自主的に行動を起こしましょう。

- 個人だけでなくチーム単位においても3R(リデュース・リユース・リサイクル)の取り組みを行いましょ。
- エネルギー(電気・ガスなど)使用量の管理、節約等を行い、省エネと温暖化対策に努力しましょ。
- 冷暖房は夏は28℃、冬20℃の設定にしましょ。
- 電灯はこまめに消灯しましょ。

● 用語集

※1 リサイクルボックス

再生可能用品を回収するため、同質の素材ごとに分別する区分け箱。

※3 エコカー

大気汚染物質の排出が少なく、環境への負荷が少ない自動車。低公害車(ていこうがいしゃ)のこと。狭義には電気自動車、メタノール自動車、圧縮天然ガス(CNG)自動車及びハイブリッド自動車(HV)の4車種を指す。燃費効果が高く、ガソリン使用が少ない。低公害車の認定を受けた自動車は、税制面で優遇される等の特典を持つ。

※5 統一ハンガー

(社)日本アパレル産業協会と日本百貨店協会が環境保護のために推進している「百貨店統一ハンガー」などのこと。百貨店統一ハンガーは店頭で架け替をせずに販売でき、販売後は百貨店のバックヤードで一括回収し、ハンガー業者が回収・洗浄し繰り返し使用できるリユースハンガー。

※2 LED

LED(エルイーディー:Light Emitting Diode)発光ダイオード(はっこうダイオード)のこと。順方向に電圧を加えた際に発光する半導体素子のこと。電球等に使用した際、寿命は白熱電球に比べてかなり長くなる。今日では様々な用途に使用され、今後蛍光灯や電球に置き換わる光源として期待されている。

※4 3R

3つのRは英語の
 ・Reduce(リデュース・廃棄物の発生抑制)
 ・Reuse(リユース・再使用)
 ・Recycle(リサイクル・再資源化)
 循環型社会を実現するためのキーワード。

※6 オリコン

折りたたみコンテナの略。店頭に納品する際、ダンボールに代替として繰り返し使用できる箱。

環境対策 アクションプランガイド



2009年4月

Message

世界的に環境問題が大きくクローズアップされ、アパレル業界も環境対策への具体的な行動が求められるようになりました。

このほど日本アパレル産業協会では、環境対策に関する自主行動計画をまとめ、あわせて自主行動計画を実施しやすくするためのアクションプランガイドを作成しました。環境課題を適切に対処するためには担当部署だけでなく、経営する方々の理解と認識、さらには実施に向けての率先行動などが必要とされ、各部署における業務に即した取り組みが求められます。

いわば、一人ひとりが「地球環境や社会に貢献できているのか?」ということ意識しながら業務遂行することが大切になります。



啓発活動 (自社内における啓発活動)

- 廃棄物の分別とリサイクルボックス^{※1}の設置
- 冷暖房の温度管理
- 社内の環境ガイドラインを策定
- 項目毎のポスター等の作成及びセミナー
- 各部署でのアクションプランの作成
- 環境負荷の認識

数値目標

繊維ファッション各社におけるCO₂排出量を、目標年(2010年)において基準年(2005年)の水準により**6%を削減**する。この目標を達成することを目指していく。

各社の状況確認で事務所・センター等で管理可能データ(自社での費用負担分)を確認し、基準年を2005年とした。また、使用電気量の確定値にCO₂排出係数(2005年0.423)を掛けて出した排出量の削減に努力する。

(社)日本アパレル産業協会 自主行動計画

Check List

温暖化対策

まずは、調べることから、始めましょう。

1	エネルギー使用量の調査	ビルごとや部署単位で電気やガスなどの使用量を把握。	
2	オフィス器機・設備の調査	オフィス器機や照明器具 ^{※2} などを省エネ型に交換。	
3	所有車両の状況把握	所有車両をエコカー ^{※3} へ切り替え、合わせてアイドリングストップを実施。	
4	商品開発における対策	環境に配慮した商品開発や素材、副資材の採用。	

3R^{※4}の取り組み

未来のために、欠かせない取り組みです。

5	用紙の削減	ペーパーレス活動(PC・プロジェクターの使用)。コピー機能の活用(両面・2in1等)。	
6	生産時廃棄物の有効利用	縫製工場等での破布や廃棄資材は再生資材にリサイクル。	
7	統一ハンガーやオリコンの利用促進	統一ハンガー ^{※5} やオリコン ^{※6} (折りたたみコンテナ)を利用する。	
8	廃棄物の抑制	ゴミの分別の徹底。過剰包装の抑制。	

省エネ対策

一人ひとりが行動することが大切です。

9	燃料の節約	所有車のガソリンや使用ガス・ボイラー等の燃料節約。	
10	事務器等の管理	パソコン、印刷機、コピー機、シュレッダー等の電源は適時OFFにする。	
11	適性冷暖房の実施	夏28℃ 冬20℃	
12	自社内の環境対策推進	社内のガイドラインを策定し、省エネルギー化を進める。	

※1~6は裏面の用語集に解説があります。